

地域連携センター ニュースレター

「NHK サイエンススタジアム 2017」に出展 - 子どもたちが身振り手振りで車型ロボット操作を体験 -

2017 年 10 月 21 日（土）、22 日（日）、日本科学未来館（東京都江東区）で開催された「NHK サイエンススタジアム 2017」に、工学部機械システム工学科のロボティックライフサポート研究室《指導教員：金宮好和（D.N. ネンチェフ）教授、佐藤大祐准教授》が出展しました。本イベントは、“カガクを遊びつくそう！”をテーマに、NHK の科学番組が一堂に会した体験型科学フェスティバルです。番組の公開収録や、番組の世界を体感できる展示体験コーナーを通して、科学の魅力や面白さを紹介しています。その中で、本学ブースでは、モーションキャプチャーデバイス（体の動きを読み取るセンサ）を使い、身振り手振りで車型ロボットを操作するワークショップを行いました。2 日間で約 1700 名（ご家族含む）を超える来場者が訪れ、参加した子供たちは、両手の動きにより「前後」「左右」「斜め」「旋回」する車型ロボットを操作し、ロボットの仕組みなどに関心を寄せていました。



身振り手振りで車型ロボットを操作



会場内の様子



ロボコン大会を盛り上げたロボットも登場

第 30 回 尾山台フェスティバルに「科学体験出張教室」を出展しました

2017 年 10 月 21 日（土）、22 日（日）の両日に亘り、尾山台商栄会商店街（ハッピーロード尾山台）で「尾山台フェスティバル」が開催されました。今年で 30 回目を迎えたイベントでしたが、台風と前線の影響で両日も大雨の中で開催となりました。本学からは、「ロボットとエコラン車体の展示・体験」（機親会学生会）、紫外線で光るビーズ（電気電子研究会）、3D メガネをつくろう（科学体験教材開発）の 3 団体が、近隣の子どもたちが科学技術や理科に対して少しでも関心が深まるようにと「科学体験出張教室」を出展しました。参加した子どもたちは、学生スタッフからの説明に耳を傾け、雨にもかかわらず作品づくりに熱中し、出来上がった作品を手にした時の、達成感に溢れる表情が印象的でした。また、「VENT DE LUDO（ヴァンドゥリュド）」と工学部機械工学科の寺西優さんとのコラボパン「サーモンときのこのスティックパイ」も 2 日間限定で販売されました。



学生の説明に耳を傾ける子どもたち



コラボパンも好評でした

「地域連携センター ニュースレター」へのご要望、情報提供、お問い合わせは下記まで。
■□■ お問い合わせ先 ■□■
東京都市大学 研究推進部地域連携センター
〒158-8557
東京都世田谷区玉堤1-28-1
TEL: 03-5707-0104 (内: 2223・2224)
FAX: 03-5707-2128

※研究発表などを行う際は、ぜひ

二子玉川夢キャンパスをご利用下さい。

